

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績評価方針及び評価方法に関する検討課題

1 業務実績報告書の様式、記載方法

《第一期の方法》

- 年度計画の項目ごとに業務実績を記載。
- 評価項目ごとに5段階の自己評価を記載。
- 以下に掲げる項目を「特記事項」として記載。
 - ①これまでの評価結果を踏まえた改善に向けた取組み
 - ②特色ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組み
 - ③遅滞が生じている取組みやその理由
 - ④過年度の実績との数値による対比

《課題》

- 同一の事業が複数の項目に関連する場合、報告書の記載内容に重複が生じる。
- 支援事例や成果事例の記載を充実させてきたが、その分報告書の分量が多くなる。

2 項目別評価の方法

《第一期の方法》

S, A, B, C, Dの5段階で評定。 ※評語の考え方は別表のとおり
評価項目ごとに、評定の説明文を記載。

3 全体評価の方法

《第一期の方法》

以下の構成を基本に、記述式で評価。

- 1 総評
法人の業務全体の状況について総合的な視点から評価。
- 2 中小企業への技術支援・研究開発及び法人の業務運営等について
「事業化支援」「技術協力」「研究開発」「技術移転」「法人の業務運営等」「その他」の大項目ごとに業務実績を評価。

4 評価作業の進め方

《第一期の基本スケジュール》

6月末	法人が業務実績報告書を提出
7月上旬	第1回分科会（法人からのヒアリング）
7月中旬	委員による評定の作成
7月下旬	評定結果の確認・集約
8月上旬	第2回分科会（評価案の検討）
8月中旬	法人による評価案の事実確認
8月下旬	第3回分科会（評価の決定）
9月中旬	評価結果の東京都議会への報告、法人への通知

5 第二期の業務実績評価の基準

(1) 評価項目の区分

《第一期の区分》

平成18年度評価	16項目
平成19年度評価以降	28項目

※ 第二期の区分案

⇒資料2「(地独)東京都立産業技術研究センター 第二期の業務実績評価項目(素案)」

(2) 各評価項目における評価の視点

《主な検討課題》

- 定性的評価（サービスの質の向上や、支援の成果など）に関する評価の視点
（例）「技術相談」「依頼試験」「産学公連携」など
- 複数の評価項目にまたがる事業について、主たる評価項目の整理
（例）「中小企業振興公社等との連携」「技術経営支援」「技術審査協力」など